

生産マイスター検定試験 2 級 問題例

【問題】 つぎの語句を説明するものとして、もっとも適切なものを選びなさい。

ライン

[選択肢]

- ア. 工場で製品を作り出すのに必要な全体方針を決める部門
- イ. 工場で製品を作り出すのに直接貢献する部門
- ウ. 工場で製品を作り出す部門を支援する部門
- エ. 工場で作られた製品を販売する部門

【問題】 ABC分析において、品目数が少なく消費金額が大きいグループの在庫管理は
どうすればよいのか、適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. 発注事務費をかけても在庫圧縮をはかる。
- イ. 在庫圧縮よりも発注事務の簡素化をはかる。
- ウ. 在庫圧縮と発注事務の簡素化をバランスよく行う。
- エ. 発注事務の簡素化をはかるとともに欠品防止もねらう。

【問題】 材料の実際単価が 100 円/kg、標準単価が 80 円/kg で、実際の消費量 10 t、標準消費量 8 t の場合の消費量差異の値はいくらか。計算して正しいものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. 100 千円
- イ. 160 千円
- ウ. 200 千円
- エ. 400 千円

【問題】 つぎのケースを読んで、各設問に答えなさい。

中里三郎は豊田製菓株式会社に入社して10年が経過し、種々の洋菓子の製造工程で経験を積み重ねてきたが、昨年からは製造工程全般の責任を任される立場になった。

豊田製菓株式会社は東北地方の南部に本社および唯一の工場が立地し、東北南部から関東北部にかけて洋菓子メーカーの老舗としての評判がよく、顧客基盤も安定している。かつては自社ブランドの洋菓子をもっぱら生産していたが、経営規模をより大きくすると経営者の判断で、近年は大手のスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けのプライベートブランド品（以下、PB品と記す）の受注・生産にも力を入れ始めている。

これらのPB品は受注数量が大量であることから、専用の流れ作業形式のライン職場となっている。顧客への納入価格はかなり低価格になっていることから、自社ブランド品以上に製造原価を低くする必要があると同時に、原価管理も赤字にならないように管理する必要がある。同社の工場は、標準原価方式の原価管理を以前から採用している。しかし最近になって、実際原価が標準原価未達となることが多くなってきた。

ある日、中里は社長に呼ばれ、「PB品について標準原価未達が慢性的になる前に早急に改善するように」と、指示が下りた。

さっそく中里は自身をリーダー、2年後輩で経験豊富な田端進をサブリーダー、メンバーとして入社3～5年の若手を2名指名し、分析チームを編成した。初回のチームミーティングで中里からチームメンバーに活動の目的や趣旨が説明され、全員のやる気を確認した。

田端 「PB品の実際原価が標準原価を超えることがあるとのことですが、どこから調べますか？」

中里 「どこに原因があるかがわかっていないときは、全体を大きく分析することから始めるといいんだ。いい機会だからまずはPB品全体の製造原価をチェックしよう」

田端 「先月のデータでPB品の品目ごとに原価費目別に分析をやってみましょう」

翌日のチームミーティングで、

田端 「分析が終わりました。その結果、わかったことは材料費と経費についてはOKですが、PB品の1つで労務費に問題がありました」

中里 「もっと詳しく話してみて」

田端 「そのPB品の労務費ですが、日によって標準原価を超えることがあります」

中里 「なるほど。ところで田端君、君はその先をどのように分析するとよいか知っているかい？ 標準原価を超えている日の状況をさらに詳しく知りたいね」

.....

設問 1. そのPB品の労務費が標準原価を超えているときの状況をさらに詳しく分析する方法は何か、適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. 日別の労務費（単価＜賃率＞・工数）の差異分析
- イ. 品目別の労務費によるパレート分析
- ウ. 管理図による労務費の日々のばらつきの分析
- エ. ヒストグラムによる労務費のばらつきの分析

.....

田端 「この方法は研修で勉強しました。このような時に使うといいんですね」

中里 「でもまだ労務費超過の原因の追究中なんだよ」

.....

設問 2. さて、該当の PB 品の労務費が標準原価を超えている日の労務費をさらに分析すると何がわかるか。賃率差異はないとして適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. 急な受注で生産数量を増したこと。
- イ. 作業班のミーティングがあったのでその分だけ就業時間が長かったこと。
- ウ. 生産数量以上に作業時間が予定よりも長くなったこと。
- エ. 当日の製造ラインで品種切り替えが多かったこと。